

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2009年1月19日 No. 6

集団訴訟支援宣伝・署名行動各地で

原爆症認定訴訟も大詰め、一刻も早い全面解決が緊急の課題です。原爆症認定集団訴訟の早期・一括解決と認定基準の再改定を求める全国いっせい宣伝が17日、おこなわれました。日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）や同訴訟原告団、弁護団、支援ネットがよびかけたものです。

被爆者・支援者あわせて41人が行動 被爆写真パネル掲げ座り込み 千葉

千葉県船橋市の船橋駅北口では、被爆者19人と支援者ら計41人が、被爆写真のパネルを掲げて座り込み、東京高裁と千葉地裁に公正な判断をおこなうよう求める署名への協力をよびかけました。

署名に協力した同市内の女性（59）は「父が長崎の被爆者でしたが亡くなりました。被爆者手帳を持つ身内も多く、長い間病気に苦しんでいるので人ごとではありません。国はもっと早く原爆症認定をしてほしい」と話していました。通りかかった中学生らが被爆者を囲んで被爆体験を聞くなど、若い世代からの反響が大きく、一時間半のとりくみで529人分の署名と2万8千円あまりのカンパが寄せられました。

被爆3世の小学生もピラ配りに協力 愛知



1月16日、不作為の不服申し立てを行った愛知では、被爆者、被爆2世、被爆3世と支援者ら11人が名古屋市中区栄の繁華街で17日午後、行動。100万筆署名43筆、新国際署名が44筆集まりました。

弁護団の樽井事務局長に続き、堀三郎愛友会副理事長は「私自身も昨日県へ異議を申し立てた。何としても政治決着にむけ皆さんに力をいただきたい」と訴えました。被爆3世の小学生2人が黄色い声でチラシを配ってくれました。若い署名してくれる人の中には、「いいですよ」と言って、家族全員すらっと書いてくれる人、親子で、カップルでしてくれる人、昨日の報道を見てくれているためか、好反応が続きました。また、今回も歌い手メンバーが街頭ライブを行い、HOPE～ヒロシマ・ナガサキ～（新国際署名テーマソング）など歌ってくれました。

3時間のロングラン宣伝 長崎

長崎県原水協は17日、14:00から17:00まで長崎駅前高架広場で「原爆症認定訴訟支援」の宣伝・署名行動を行いました。支援する会の方針で、この日は県原水協担当の行動日でした。連日続いた寒波もいくらか柔らいだものの、マイクを握る手、画板を持つ手は冷え切る感じでした。合計17人の参加で署名218筆、カンパ4250円が集まりました。寒い中でしたが、署名はよく集まりました。

銀座の中心街で訴え 東京

東京・有楽町マリオン前では、「総理・厚労大臣は決断すべきです もう待てない！ すぐに原爆症認定を」の横断幕をかかげ、15人が訴えました。

全国原告団の山本英典団長は「裁判で勝訴しながら未認定の原告が50人いる。原告のうち62人がすでに亡くなった。厚労省は一日も早く、一人でも多く認定する立場を取るべきだ」と語りました。